

広報なすしおばら

NASUSHIOBARA Newsletter

5/5

May 2017 No.297

第2次那須塩原市総合計画に基づくまちづくりがスタート

未来に向かって



市では目の不自由な人のために音訳版広報を発行しています。詳しくはシティプロモーション課までご連絡ください。



2 市の将来像では 主役である"人"に着目

さまざまな人がつながり、支え合い、幸せや充実・安心を感じながら暮らし、人が輝きを増し、自発的に考え、まちづくりに取り組んでいくこと。そうすることで「市民一人ひとりの力」「地域で支え合う力」「まだ見ぬ那須塩原の魅力」「未来に向かってたくましく生きる力」などの「新しい力」が生まれるのではないのでしょうか。



人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原

3 人口減少に歯止め 目標人口を設定

総合計画に掲げる政策・施策を推進することで得られる効果を見込み、「目標人口」を推計しました。合計特殊出生率と純移動率を改善することで平成37年の推計人口は115,769人となることから、10年後の目標人口を115,800人とします。



4 エリアごとに 方向性を規定

土地利用の現況や地理的条件、産業構造などの特性から、市全体を4つのエリアに分け、まちづくりを進めていきます。

市街地エリア
3つの鉄道駅を中心とした用途地域とその周辺地域を市街地エリアとして位置付け、良好な市街地の形成と都市機能の誘導を推進します。

フロンティアエリア
2つのインターチェンジを中心とする地域をフロンティアエリアと位置付け、立地特性を最大限活かすことができる工業生産、物流機能などの新たな都市機能を段階的・計画的に誘導します。

農業・集落エリア
農業生産基盤と集落生活環境の維持向上を図るとともに、那須野が原開拓の歴史を今に伝える景観の保全や集落環境の整備に努めます。

山間・観光エリア
本市西部の山岳地帯を、山間・観光エリアとして位置付け、豊かな自然環境の保全に努めます。

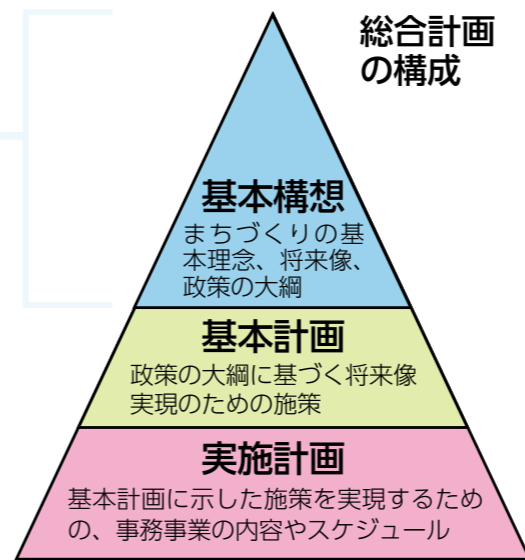


第2次那須塩原市総合計画に基づくまちづくりがスタート

未来に向かって

10年後の市の将来像は

人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原



今後10年間のまちづくりの道しるべとなる第2次那須塩原市総合計画。約2年にわたって議論を重ね、策定した本計画に基づくまちづくりがスタートします。

総 総合計画は、まちづくりを進めていくための基本的な方針が書かれた最も重要な長期計画のこと。まちづくりの基本理念に基づき、目指すべき将来像を実現するための政策・施策を体系的に表したものです。この計画で定めた市が新たに目指す将来像は、「人がつながり新しい力が湧きあがるまち那須塩原」。まちづくりの主体は、そこに住んでいる皆さん自身です。先人たちがこのまちを切り拓いてきたように、これからの10年もさらに力強く前に進んでいかなければいけません。ここでは総合計画の核となる基本構想の考え方をお伝えします。

1 まちづくりの基本理念 は大きく分けて3つ

まちづくりの主役は「市民」という視点に立ち、次の3つを基本理念に決めました。

自然を守り、共生するまちづくり

那須塩原には、雄大な山々、清らかな河川、風光明媚な渓谷などの美しく豊かな自然があります。財産であるこの自然を後世に引き継ぐため、自然を守り、共生するまちづくりを進めていきます。

人を中心に、共に支え合うまちづくり

この地に暮らしてきた人々が、共に手を取り支え合ってまちをつくってきたように、市民を中心に、共に支え合い安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

歴史に学び、開拓精神が息づくまちづくり

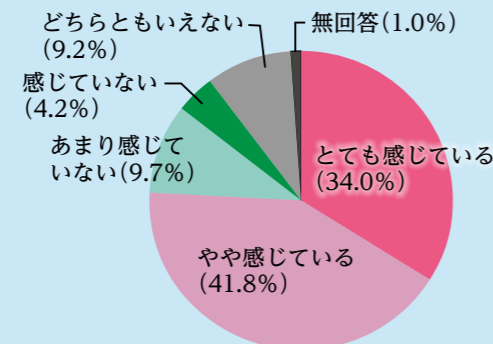
那須野が原の不毛な原野を開拓することは、大変な苦労が伴いました。先人たちは、過酷な自然環境と闘いながら、農地の開発や那須疏水の開削を行い、今日の那須野が原を作り上げました。こうした忍耐強さや新たなものごとに取り組む不屈の開拓精神を受け継ぎ、まちづくりを進めていきます。



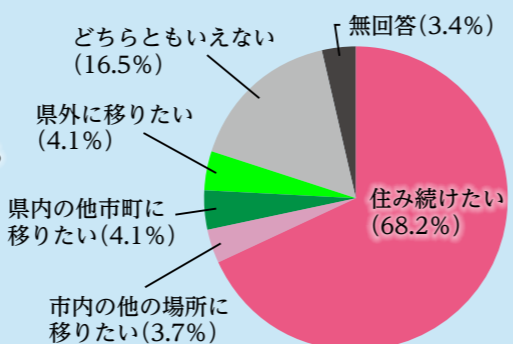
策定過程では、 市民アンケートを行いました

計画の策定にあたり、市民の皆さんの那須塩原市に対する意識(住みやすさ、魅力に感じているところ、訪問や定住を進めるかどうか、など)をアンケートで集計しました。ここではその一部を紹介します。

Q. 愛着をどのくらい感じていますか?



Q. これからも住みたいと思いますか?



未来に向かって

まちづくりの中心は人。
その原動力になる市民一人ひとりが思い描く10年後の
那須塩原はどんなまちだろう——
街中で皆さんに話を伺いました。



Q あなたが思い描く10年後の那須塩原は
どんなまちだったらいいと思いますか

薄井菜奈さん(下永田)



もっと移動が便利になればさらに
住みやすくなると思います

電車やバスなどを必要とする人もいます。
交通機関がもっと発達して、気軽に利用
でき移動が楽になれば、みんなが暮らし
やすいまちになるのではないのでしょうか。
都会よりも地元で暮らしていきたいと思
っています。

大島里子さん(谷根)



駅周辺が栄えて、にぎやかに
便利になればありがたいです

もっと駅周辺の開発が進んでくれる
とありがたいです。まちがにぎやか
になれば人も集まるでしょう。さら
にはお店や病院など、生活に必要な
機能が近場にまとまっていると生活
しやすいと思います。

大塚裕太さん(塩原)



人のつながりこそがまちの活力。
今以上に交流が活発になれば…

農業を本職にしていますが、日々、人
同士のつながりを通して学ぶことがた
くさんあります。自治会も家庭も消防
団なども全て人とのつながり。こうし
た交流を通して得たものは、仕事にも
家庭にもプラスに働いているように感
じます。今以上に結束の強まったまち
の将来を想像しました。

園部暁春さん(下田野)



安心して毎日を過ごせる環境が
あることじゃないかと思います

災害・火災・事故など、マイチャレの
職業体験で緊急出動が絶えない消防署
の実情を知りました。普段何気なく生
活していると安心安全に過ごせるこ
とって当たり前に思いがちですが、不
安なく過ごせる環境があることが大切
なことだと感じています。

大森道男さん(西赤田)



自然の豊かさが変わらない
まちでいてほしいですね

農地や自然などがつくる景観や風
土はとても素晴らしいものと思
います。外に出ていた時期がある
からこそ、その良さに気づけまし
た。10年後も変わらず豊かな自
然を残していければと思います。

基本政策

- 1 豊かな自然と共に生きるために
- 2 まちの安全安心を守るために
- 3 誰もが生き生きと暮らすために
- 4 快適で便利な生活を支えるために
- 5 地域の力と交流を生み出すために
- 6 まちの活力を高めるために
- 7 未来を拓く心と体を育むために
- 8 まちの持続的発展のために

薄井祥子さん(青木)



子どもをのびのびと育てられ
る環境があることでしょうか

子どもの遊び場がたくさんあるなど、
子どもと充実した生活を送れる場が
たくさんあるといいですね。のびの
びと育てられた方がいいと思います。

大田原涼奈さん(埼玉)



お店などが増えて活気のあるま
ちだいいなって思います

休みの日に買い物をしたり、カフェでお
茶をしたり、そういった遊んだりくつろ
げる場所がもっと増えてほしいです。魅
力的な場所がもっと増えれば活気も出る
と思います。

主役である皆さんがまちの未来を創っていきます

新しい力で満ち溢れる

未来の那須塩原に向かって——

10年後の自分の姿 思い描いたことはありますか

将来像

人がつながり 新しい力が 湧きあがるまち 那須塩原



5月下旬に総合計画(概要版)を配布

総合計画の概要版を5月下旬に配布します。
詳細な計画内容を知りたい人は市ホーム
ページをご覧ください。

第2次那須塩原市総合計画

検索

01

定住を促進するため
転入者対象の補助をしています



写真はイメージです

市では定住促進事業の一環として、転入者を対象に次の補助を行っています。
なお、補助の対象となる条件など詳しくは、市ホームページを確認するか、問い合わせください。

- ① 新幹線定期券購入補助
補助額 最大月額1万円
- ② 三世帯同居等支援補助
補助額 最大10万円
- ▼問い合わせ
○ 本シティプロモーション課 ☎(62)7128

02

5月28日(日)は
春の市民一斉美化運動



ごみのないきれいなまちを目指しましょう。皆さんの協力をお願いします。

- ▼とき 5月28日(日)〔雨天決行〕
- ▼内容 道路脇などに捨てられたごみの一斉回収(家庭のごみは対象外)
- ※ごみ袋は自治会を通じて配布します。自治会未加入者は、次の窓口で配布します。
- ▼配布窓口 本環境対策課、西市民福祉課、西総務福祉課、箒根出張所
- ▼問い合わせ
○ 本環境対策課 ☎(62)7301

03

県民の日にあわせて
6月15日(木)は体育施設を無料開放

対象施設	連絡先
くろいそ運動場	☎(60)1113 ※くろいそ運動場
那珂川河畔運動公園	☎(60)5058
青木サッカー場	☎(36)4785
にしなすの運動公園	☎(36)4787
三島体育センター	☎(32)5255 ※B&G海洋センター
塩原B&G海洋センター	
関谷南公園	
塩原運動公園	

上記の施設について、1施設につき最大2時間まで無料で利用できます。
▼対象 市民
▼申込方法 各施設に直接申し込み
▼申込開始日 5月16日(火)
▼その他
・屋外の夜間照明使用料は有料です
・トレーニングルームは初心者講習会を受講した人のみ利用可能です
▼問い合わせ
○ 西スポーツ振興課 ☎(37)8749

04

来年度の教科書を採択する
地区協議会を開催します



小学校の「特別の教科道徳」と、小・中・義務教育学校の特別支援学級で使用される教科用図書の採択について、地区協議会を開催します。傍聴希望の方は、当日会場まで来てください。

- ▼とき・ところ
① 5月23日(火) 午後2時
西那須野庁舎201・203会議室
② 7月6日(木) 午後2時
西那須野庁舎301・303会議室
- ▼問い合わせ
○ 西学校教育課 ☎(37)5349

健康
だより

症状が出る前の早期発見が肝心

そのためにできること「成人検診」

2015年にがんで亡くなった人は全国で約37万人。死亡総数の28・7%で死因の1位を占めています。がんは医療技術の進歩により、早期発見・早期治療が可能となってきました。市では、がんをはじめさまざまな検診を実施しています。無症状の人にも定期的な受診を心がけましょう。

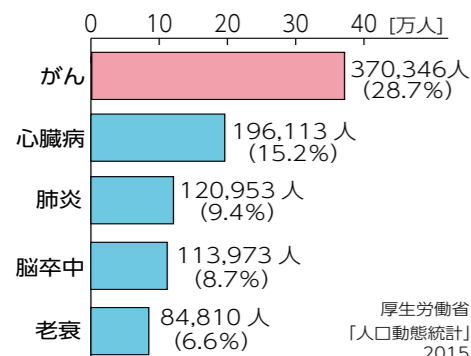


▶ 問い合わせ
健康増進課
☎0287(63)1100

年々増えるがんによる死亡者。早期がんの多くは治療可能で、軽い治療で済む一方、進行すると治療は容易ではありません。そのため、早期発見と早期治療が重要で、市では各種検診を実施しています。

検診は、健康で無症状の人が対象。「自分は健康だから検診は必要ない」というのは誤りです。健康だからこそ、今後も健康であり続けるために受診する必要があります。

主な死亡原因(第1~5位)



検診を受けましょう

- ▶ 受診回数…「医療機関検診」「集団検診」のどちらか年度内1回限り
- ▶ 注意事項…対象検診の病気療養中の人、人間ドックを受診する人、勤務先で実施している人は対象外
- ※人間ドックや勤務先の検診で実施していない検診項目は、市の検診を受診できます。

- <すでに検診を申し込んでいる人>
 - ・医療機関での検診を申し込んでいる人 4月に「受診券」を郵送しました
 - ・集団検診を申し込んでいる人 検診日が近づいたら「お知らせ用紙」を郵送します
- <これから検診を申し込む人>
 各保健センターで随時受け付けます。検診希望者は必ず申し込んでください。

検診名	内容	対象 (平成30年4月1日現在)	負担金 (70歳以上無料)	
			集団検診	医療機関検診
胃がん検診	胃部レントゲン撮影(バリウム)	40歳以上	400円	実施なし
肺がん検診	胸部レントゲン撮影		100円	
大腸がん検診	便潜血検査(2日間の便)	50歳以上の男性	200円	200円
前立腺がん検診	血液検査(PSA検査)			実施なし
乳がん検診	超音波検査	30~39歳の女性	500円	1,000円
	超音波検査・乳房レントゲン検査(マンモグラフィ)	40歳以上の女性		
子宮頸がん検診	頸部細胞診	20歳以上の女性	400円	
骨粗しょう症検診	骨密度検査	40・45・50・55・60・65・70歳の女性	200円	300円
胃がんリスク(危険度)検診	血液検査	40・45・50・55・60・65・70・74歳	300円	
歯周病検診	口腔内検査	40・50・60・70歳	実施なし	400円
肝炎ウイルス検診	血液検査(B型・C型肝炎ウイルス検査)	40歳以上で当検診を受けていない人	300円*1	無料*2
30歳35歳節目健診	身体測定・血液・尿・心電図検査など	30・35歳以上*3	500円	実施なし

*1 節目検診該当者は無料 *2 節目検診該当者のみ実施 *3 対象者には後日案内を送付



釣り人集う シーズン到来 ～箒川溪流釣り解禁～

4月2日に塩原温泉街を流れる箒川で溪流釣りが解禁され、県内外から訪れた約1,200人が魚との駆け引きを楽しみました。午前5時のスタートとともに川面に竿を垂れると、ものの数秒で釣り上げられるヤマメやニジマス。入れ食い状態の場所もあり、せわしなく竿を動かす釣り人の中には、網カゴの中に50匹以上の魚を蓄える強者も。東京都から訪れた60代の男性は「魚が糸を引いたときに伝わる振動が、釣りの醍醐味ですね」と話していました。



まちを駆け抜ける 熱い疾風 ～ツール・ド・とちぎ～

3月31日から4月2日にかけて開催されたサイクルロードレース「ツール・ド・とちぎ」。県内18市町を巡る約320kmのコースを舞台に、14チーム61人ものプロレーサーが熱戦を繰り広げました。

本市を通過した大会2日目の4月1日は、茂木町～那須町までの約100kmのルート。沿道に駆け付けた観客の前を、時速40kmを超えるスピードでかけるレーサーたち。急な上り坂に差し掛かった彼らからは、熱い息遣いが聞こえてきました。



↑ぴったり息の合った子ども疏水太鼓 → 先人への感謝と将来への決意を述べた小学生2人の意見発表 ♡桜の下で餅がテンポよくつきあげられる ↓野菜をふんだんに使った開拓なべ



恵みの水に感謝を込めて ～開こん記念祭～

全ての生き物が生きるうえで欠かせない“水”。不毛な原野であった那須野が原に疏水を開削し、命の水を導いた先人たちへの感謝を込めて、4月14日に開こん記念祭が開催されました。

雲一つない水色の春の空と、あたりを染め上げる淡いピンク色の桜。子どもたちによる疏水太鼓の鼓動は会場に小気味よく響き、春の息吹の喜びを表現しているよう。さらに、会場内では開拓なべや芋串、餅などが振舞われ、老若男女が思い思いにのどかな時の流れを楽しみました。



よりすぐりの牛たちが集合 ～青木農業祭～

桜が見ごろを迎えた4月16日、青木サッカー場で青木農業祭が開催されました。ホルスタイン共進会(美牛コンテスト)には、市内からよりすぐりの牛が参加。一定のペースでゆっくりと会場を周回する牛の列。時より列をはみ出してしまふ牛と、元に戻そうとする酪農家との戦いは大迫力でした。

春のぼかぼか陽気に誘われ、会場には多くの家族連れの様子が。そして、地元料理の美味しそうな匂いに誘われて、長蛇の列を作っていました。



未来のスーパージョッキーを夢見て ～観桜乗馬～

接骨木の地方競馬教養センターで春の風物詩となっている観桜乗馬。今年は4月13日に同センターの新入生である97期生12人と96期生8人が参加。暖かな日差しが降りそそぐ桜並木を、初々しい若者たちが練り歩きました。4月に広島県から入所し同センターで現在唯一の女性騎手候補生、濱尚美さん(15歳)は「馬と協力して、男性に負けにくいぐらい皆から憧れを抱いてもらえるような騎手になりたい」と将来に期待を膨らませていました。



会場をパンキで染めまくれ ～エキ・ファンク・フェス～

高校生が企画立案に参加したイベント「エキ・ファンク・フェス」が、(仮称)まちなか交流センターの建設予定地の空き地を利用し、3月26日に開催されました。細やかな春の雨が降り注ぐなか、子どもたちの間で流行っている人気テレビゲームを模した「リアルプラトゥーン」や、テレビ番組でお馴染みのぬるぬるのローションを使用した相撲大会を実施。あいにくの雨にも負けず、子どもたちは普段なかなかできない体験に大はしゃぎしていました。



ひときわ輝く三頭の獅子頭 ～三本木の獅子舞～

毎年3月下旬、疫病退散を祈願し、三本木延命地蔵尊に奉納される市指定無形民俗文化財・三本木の獅子舞。その昔、奉納を一時中断した際に伝染病に襲われたため、他地域から獅子舞の伝授を経て奉納を再開したと伝えられています。3月26日の本祭に先立ち、前夜に宵祭りが行われ、本祭同様、笛の音に合わせて3頭の獅子が約70分かけて22の舞を奉納。獅子が歌いながら舞うケースは珍しく、訪れた人を楽しませる理由の一つになっています。



新しい校歌を披露 ～義務教育学校 塩原小中学校～

今年4月から義務教育学校となった塩原小中学校の開校式が、4月10日に行われました。式典には児童生徒96人のほか関係者が多数出席。児童生徒を代表し、9年生の荒井虹輝君が「校訓『共に生きる』を世界に発信していきます。そして、これからも全児童生徒が共に頑張ることをここに誓います」と力強く誓いの言葉を述べた後、全員で新しい校歌を歌い、塩原小中学校の新たな門出を祝いました。



おっきな力エルにドキドキ ～「横小生きものちょうさ隊」～

横林小学校特認校推進委員会が2年前から地域の子どもたちを対象に実施している生き物調査。今回は、初めて夜の森での調査を行いました。4月15日の夕方、横林地区の森の中にある委員会メンバー宅に集合した15人の子どもたちは、巣箱から顔を出したムササビや、約20cmのアズマヒキガエルを見て大興奮。静かな夜の森に、子どもたちの歓声がいつまでも響いていました。今後も8月まで、月1回の調査を行う予定です。



小さな命を守るために ～なべかけ保育園 不審者侵入対応訓練～

全国で子どもたちの安全を脅かす事件が相次ぐのを受け、4月7日になべかけ保育園で那須塩原警察署主催の訓練が行われました。刃物を持った不審者が侵入してきた設定の中、園児を避難させつつ男を刺股で取り押さえる園職員。他園の職員約35人も様子を見学し、刺股の使い方の講習にも参加しました。警察署・生活安全課長によると「対峙せず逃げること。警察が到着するまでの時間をいかにして稼ぐかがポイント」とのことです。



花見気分で給食を楽しもう ～共英小 青空給食～

市内で桜が満開を迎えた4月13日、共英小学校の4年生が校内の敷地に咲く桜の下で給食を食べました。これは共英小では初めての試みで、新しい学年でのスタートにあたり、児童の仲間意識を作る目的で教員が提案したのがきっかけ。この日のメニューはパンを主食にコロッケやサラダ、かき卵汁など。4年1組の菊池優衣さんは「桜を見ながら食べる給食は100倍おいしい」とニコニコしながら口いっぱいほお張っていました。

ひよこの会でママ友を作ろう

育児の勉強をしながらママ友づくりが気軽にできると好評!!
学習中は保母グループがお子さまをお預かりするので安心です。



- ▶とき 6月～12月の主に第2・4木曜の午前中(全12回予定)
- ▶ところ 三島公民館 ▶定員 20組
- ▶対象 市内在住で、1歳～就園前の幼児のお母さんとお子さん
- ▶内容 育児講座、親子遠足、手作り講座、人形劇鑑賞、調理講座など
- ▶年会費 子ども1人につき4,000円 ※保険料、おやつ代含む。
- ▶申込開始日 5月9日(火) 午前9時～
- ▶申し込み・問い合わせ 三島公民館 ☎0287(36)8531

子どもの預け先でお困りなら…ファミリーサポートセンター

「病院に行きたいけど、子どもを預けられる人がいない」「仕事で習い事への送り迎えができない」。子育て中はこんな悩みを持つこともあるはず。ファミリーサポートセンターでは、子育て世代(利用会員)の悩みを解決するため、子育てをサポートできる人(サポート会員)を紹介しています。1時間700円からの料金で、習い事への送迎や病後の子どもの預かりなど、さまざまな場面で利用可能です。まずは気軽に問い合わせてください。▶問い合わせ ファミリーサポートセンター ☎0287(47)6252



詳しくは↑

利用者の声

利用会員

—仕事を続けられたのはファミサポのおかげ—



宮塚 博江さん
子ども2人(9歳、16歳)

私は東京で、夫は長崎の生まれ。そのため、近くに親族はいません。共働きで朝から夜遅くまで働いているので、ママ友からこのサービスを聞いて、すぐに利用しました。現在は部活の送迎など週3回ほど利用しています。

最初子どもを預けたときは不安だったのが正直なところ。でも、子どもが笑顔で帰ってくるのを見て、不安はすぐなくなりました。

頻繁に利用を続けていたので、子どもは本当のおばあちゃんだと勘違いしていたこともありましたが、現在ではサポート会員の方とは、実際の家族のような関係です。いろいろな人に面倒をみてもらいながら子育てができて、本当に良かったと思います。

子育て中は1人で悩みを抱え込んでしまいがち。そんなときは、お試しても良いと思うので、ファミサポを利用してみてください。きっと、不安や悩みは軽くなるはずですよ。

サポート会員

—今では暮らしの中の楽しみの一つに—



室井 幸男さん・民子さん夫妻

子どもは2人。孫もいますが、離れた場所に住んでいるのでなかなか会えません。昔から子どもが好きだったので、保育士の資格などは持っておらず、何かできることはないかと思っていました。そんなとき出会ったのが、ファミサポです。

初めのうちは、お子さんを預かる不安は大きかったです。特に小さい子の場合はおさら。昼寝をしているお子さんの寝息を、片時も離れず耳をそばだてていたのを覚えています。今でも送り迎えの時は、細心の注意を払いながら車を運転しています。後ろの車に迷惑をかけるくらいかもしれませんが、お子さんの安全は何事にも代えられません。

一番のやりがいは、少しずつ成長していく子どもたちをそばで感じられること。それを見守るのが楽しみで、私たちの生きがいです。それと大切なお子さんを預かるので、責任と緊張が生まれます。お子さんの笑顔と適度な緊張感が私たち夫婦の元気の源ですね。



お便りBOX

皆さんからいただいたお便りを紹介します。
今後の広報誌づくりの参考にさせていただきます。
※今回の読者プレゼントはお休みします。いただいたハガキは次回の抽選で反映させていただきます。

◆私は年がいつているので、4月5日の巻頭が温泉特集だったのでわかりやすく、読みやすかったです。那須塩原市に越してきてから長いですが、まだわからない所がたくさんあります。
S・Kさん(北弥六) 60代女性

◆ディスプレイネーションキャンペーンの紹介ページを読みました。いちごとみるくフェア、朝食イッピン物語、私にはとても魅力的♡でした。できたら宿泊客ではなくても朝食だけ食べに行きたいなと思いました。各宿泊施設の朝食を紹介してくれな

スマートフォンなどからの応募はこちら



Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 表紙 | 2. 特集 |
| 3. 行政 info | 4. タウントピックス |
| 5. 子育て連絡帳 | 6. チャイルドトピックス |
| 7. 健康だより | 8. 図書館へ行こう！ |
| 9. お便りBOX | 10. なすしおばら珍百景 |
| 11. ちっちゃな自然 | 12. 編集後記 |
| 13. げんきびと | 14. ものづくり若人 |

広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

◆東京から一昨年引っ越してきました。東京の友達からはほとんどの人に「なぜ栃木に？」と不思議がられました。自分も引っ越した当初は不慣れで風がきつく、雨が多くマイナスイメージでした。しかし、生活してみると那須塩原って特に食に関してはずばらしいと感じています。米、肉、野菜、牛乳：体

◆3月5日号の特集を読み、いつの日かもう一度見たいと思っていた木綿畑神楽に行ってみました。小学生の頃に祖母に連れられて見た思い出の神楽。60年前の記憶が思い起こされて大変感動しました。後継者が少ないなか本当によく守ってこれたなと思いつつ、これからも

◆3月5日号のたくさんさんの民俗芸能はよかったですね。年を取ると今まで行けたところにも足が遠くなってきましたが、最近では広報でいろいろなることを知り、家で楽しんでます。前より色などもきれいで、楽しい表紙に手を差し伸べるのが楽しみです。まちの祭りの様子など楽しみにしております。
H・Nさん(埼玉) 70代女性

その他にも、たくさんのお便りをいただきました。ありがとうございました。

※いただいたご意見は、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。
※紙面の都合上、掲載できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

図書館 HP

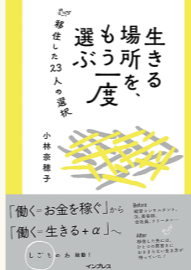


図書館へ行こう！

図書館は赤ちゃんからお年寄りまでご利用いただける施設です。
お気軽にお立ち寄りください。



NEW!



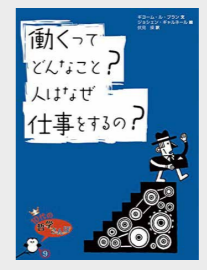
『生きる場所を、もう一度選ぶ』
著：小林 奈穂子 インプレス
住む場所や仕事をする場所、生きる場所は「ここしかない」と考えていませんか。都心部から田舎に移住した23人のリアルな声がつづってあります。
あなたの“居場所”はどこですか？



『写真アルバム 那須・塩谷の昭和』
監修・執筆：磯 忍 いき出版
戦前戦後の街並みや人々の生活の様子、地域の行事などの昭和の思い出を、写真で後世に語り継ぐ1冊。数々の写真から地元の歴史を垣間見ることができます。
なつかしいふるさとの姿がここに…



『鳥の正面顔』
著：鳥くん 玄光社
鳥の顔を正面から見たことはありませんか？ 鳥の真正面に回り込んで見てみると…え？ こんな顔してたの!? 表情豊かな鳥の正面顔。真の可愛さは正面顔にあり！
鳥の可愛さ172連発！



『働くってどんなこと？ 人はなぜ仕事をするの？』
文：ギョーム・ル・ブラン 岩崎書店
働くことに対して哲学的に考える1冊。働くとは何か、人はなぜ仕事をするのか。誰しも一度は考えたことがあるのではないのでしょうか。
働くことを意識し始めたあなたへ



『わかる! 学校どうぶつ 飼育ハンドブック』
編・著：公益社団法人 愛知県獣医師会 中日新聞社
皆さんの通っている、通っていた学校では動物を飼育していましたか？ 学校で動物を飼育するには何から始めれば良いか…そんな疑問に答えます。
学校飼育動物の？ “はてな”がわかる



『おいしそうなしろくま』
著：柴田 ケイコ PHP 研究所
くいしんぼうのしろくまは想像してみた。「ごはん」や「みそしる」の中はどんな感じかな？ その他にもいろいろな食べ物が出てきて…想像力をかき立てられる1冊です。
食べ物の中に入ってみたいなら…？

イベント情報



おはなし会と工作会「ふんわりわなげ」を作ろう！
絵本の読み聞かせをするおはなし会の後に工作会を行います。ハサミを使った作業はないので、小さなお子さんでも安心して参加できます。
▶とき 5月20日(土) 午前10時30分～11時30分 ▶ところ 塩原図書館
▶対象 小学生(義務教育学校の児童を含む)以下 ▶参加費 無料 ※申込不要。

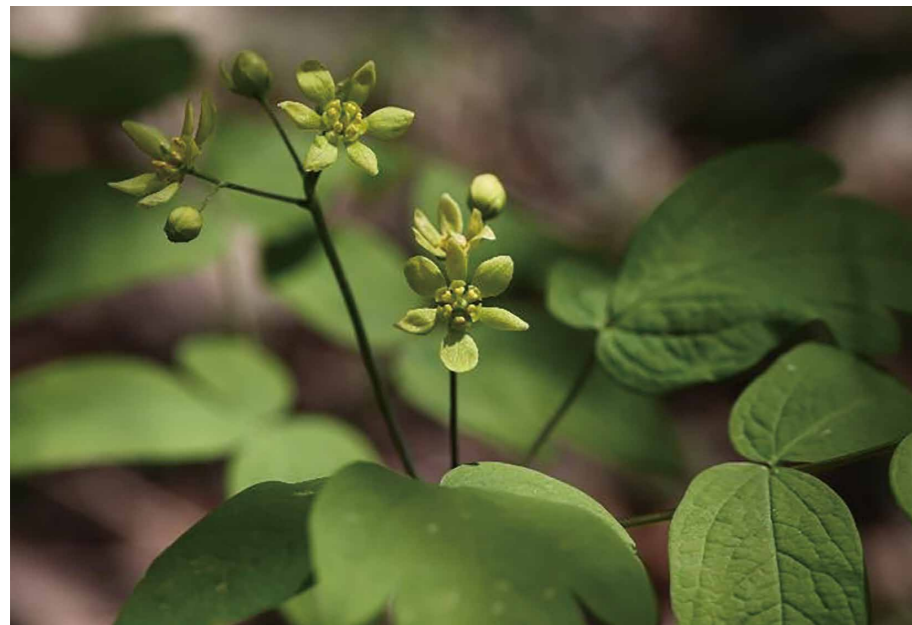
▶問い合わせ 西那須野図書館 ☎(36)6001 黒磯図書館 ☎(63)9031 塩原図書館 ☎(48)7521

ちっちゃな自然
みつけた

NO. 146

自然を愛そう那須塩原

妖精のあとに
～ルイヨウボタン～



ルイヨウボタン 撮影日時:2013.5.3 撮影場所:木の俣園地

ルイヨウボタンって?

メギ科
Caulophyllum robustum Maxim

山地の林床に生え、高さは40～70cm。茎頂に直径1cmの黄緑色の花をまばらにつける。葉は3個ずつの複葉で2～3つの浅い切れ込みがある。



トウゴクミツバツツジ

5月になって木々が芽吹き、新緑の季節がやってきました。皆様春を楽しんでいらっしゃるでしょうか。私は、4月からの仕事が決まり、ほっとしています。小さな不安が解決し、大きな希望が実現しました。今までも自由山野山を歩けるようになったのです。野山は、スプリングエフェメラル(春の妖精という意味)と呼ばれるカタクリなど早春の花が咲き終わりました。今、板室の木の俣園地には、トウゴクミツバツツジやルイヨウボタンが咲いています。

今回はルイヨウボタンを紹介します。この花が木漏れ日を浴びた林床にひっそりと咲いている姿は、凛としていて惹かれるものがあります。ルイヨウボタンは、漢字で書くと「類葉牡丹」、葉の形がボタンに似ていることからその和名がついたようです。確かに葉はボタンに似ていますが、ボタン科ではなくメギ科の植物。一見6枚の花びらのように見えるものは萼と呼ばれるもの。萼は花びらの付け根にある緑色の小さな葉のようなもので、その内側にあるさらに小さく黄色いものが花なのです。蜜も出ます。

一斉に緑が萌え出す5月上旬に黄色の花を咲かせるルイヨウボタン。目立つ花ではありませんが、健気にひっそりと、そして力強く花開く姿は人々を魅了します。小さな春の芽吹きを探しに野山へ出かけてみてはいかがでしょう?

おさむ

編集後記

夜の森で子どもたちが生き物調査を行うとの連絡を受けて、取材に出かけました。まだ日によって寒暖の差が大きい時期でしたが、会場となっている森の中で息を潜めていると周りからガサガサと何か動く音が…。足元を見てみると何匹もの大きなヒキガエルが産卵のために、一斉に近くの小さな池を目指して森の中を進んでいたんです。彼らのその様子を見て、自然の不思議や凄さを改めて感じる事ができました。(興野)

『1人でも多くの方に読んでいただける広報誌を作りたい』という思いで初編集に臨みました。いくら良い情報を載せても、美しい写真を載せても手に取って読んでいただかなければ始まらないと常々感じています。まだまだ勉強中の身で取材や編集作業も手探りですが、まずは幅広い年代の方に広報誌に興味を持ってもらえるよう、初心を忘れずにこれからじっくりと取り組んでいきたいと思っています。(生駒)

なすしおばら
珍百景

あなたの"珍"を募集中

＜応募方法＞

方法① きらきらホット
なすしおばらに投稿
珍百景投稿用フォームに
必要事項を入力。



方法② シティプロモーション課に電話
☎(62)7109

●必要事項

住所、氏名(ペンネーム)、電話番号、年齢、性別、珍百景写真、タイトル、撮影日、コメント(100字程度)

●注意点

※人権侵害、政治・宗教活動、意見広告や宣伝につながるものなど、掲載できない内容があります。
※内容を変えない範囲で添削する場合があります。
※被写体の人物または所有者などに許可を得てから応募してください。
※インターネットなどからの転載はご遠慮ください。
※応募いただいた写真は市の情報発信活動に使わせていただく場合があります。

公園の番人?



投稿者 トーテムポール さん(20代男性 上厚崎)

撮影場所 黒磯公園(撮影日 H29.4.15)

これまで何度となく素通りしてきましたが、よくよく考えてみると不思議な光景。なぜ、この場所に立っているのでしょうか。

行政情報アプリ「広報紙」が「マチイロ」としてリニューアル!

マチを好きになるアプリ



マチイロ

自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん!

1 役立つ行政情報を見逃さない!

2 自分に合わせた情報が届く!

3 いろいろなマチの魅力をお届け!

ダウンロードはこちらから



※「広報紙」をご利用中の場合、アップデートによって新アプリに切り替わりますので、新たにダウンロードする必要はありません。 ※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。 ※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。

マチイロに関する問い合わせは株式会社ホープ(092-716-1404)まで

3 2 5 - 8 5 0 1

お手数ですが
52円切手を
貼ってください

那須塩原市役所
シティプロモーション課
「広報なすしおばら係」行

ご住所

那須塩原市

お名前(掲載する場合は実名ではなく、イニシャルで掲載します)
ペンネーム
(希望者のみ)

☎電話

年齢 歳 性別 男・女

読者プレゼントに応募しない場合は☑をいれる 応募しない



甲斐 隆弘 さん(広島県出身) 入社1年目 *Takahiro Kai*
品質保証室

WAKO

若

ものづくり

人

UDO



Vol. 4

問い合わせ ☎0287(62)7130
☒商工観光課



室井 卓也 さん(高林) 入社10年目 *Takuya Muroi*
製造課デザート仕上係

食がもたらす笑顔をたくさんのお客様へ提供したい

那須グリコ乳業(株)では学校給食で使われる牛乳や乳飲料、ヨーグルトなどを製造販売しているほか、那須塩原産の生乳を使った「那須高原特選牛乳」や「朝食リンゴヨーグルト」など、皆様に愛されているおなじみの商品をたくさん取り扱っています。

食に対する思いとは

室井…食の仕事に携わるようになって10年。食の最前線という仕事であっても、勤続年数が長くなると扱っている商品が食品であることを忘れてしまう瞬間があります。それは食に携わるものとして大変危険なこと。そんな感覚を払拭するためには初心に立ち返り、「安心・安全な商品を皆様へ届けるために」という強い思いで仕事に向き合っています。

甲斐…前職は家電量販店の販売員でした。思い切った転職の道を選んだのは、経験を重ねるうちに「商品を売るより、ものづくりがしたい」という思いが強くなっていったことがきっかけです。今の仕事ではヨーグルトなどの発酵食品も多く扱うので、学生時代に学んだ微生物に関する知識が役立っています。品質保証室は全ての商品を検査する重要な部署。お客様の口に入る「食の安全」に直結する仕事だからこそ、自分の役

割に責任を感じています。また、工場見学に来た子どもたちから、お礼の手紙をもらうことがあるんですが、それが仕事への励みになっていますね。

これから目指すことは

室井…今以上に設備のことを理解し、高品質の製品をつくらせていきたいと思っています。自分たちが携わる食品を食べたり飲んだりしてもらっているところを見ると、「もっと頑張らなくちゃ!」という思いが湧いてきます。これからも皆さんに愛される商品をたくさん提供していきたいです。

甲斐…1年が経過し、ようやくやるべきことが明確になってきたところなので、今後は提案や改善を行い、より良い会社となるよう頑張っていきたいと思っています。



協力企業
那須グリコ(株)(下厚崎247)
【業種】 処理牛乳・乳飲料製造業
【業務の内容】 飲料ならびに食品の製造販売
【従業員数】 160人
【問い合わせ】 ☎0287(62)0876